

授業科目名	【G】 【EF】	民法(総則)Ⅱ 民法総則Ⅱ	区分 選択	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単 独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	法律関係の主人公に関する様々なルール			担当者	手塚 一郎		
授業概要	【概要】	この科目は、同じ担当者による2021年度後期(水曜2限またはオンライン)の「民法総則ⅠB／民法(総則)ⅠB」に続く内容を講義するものです(教科書も同じ本を使用します)。総則の前半部分(法律行為まで)の内容の理解を前提に、「代理」「時効」「法人」を主なテーマとして扱います。六法で条文を確認してもらいながら、教科書と事前配布資料に沿って講義を進めますので、受講の際には教科書・六法・資料を必ず用意してください。					
	【到達目標】	この科目では、①講義内容に関する最低限の専門用語を修得すること、②講義内容に関する民法上の主な制度の意義を理解すること、③それらの制度を使うといかなるトラブルがどのように解決されるのかを文章で説明できるようになること、を目指します。					
履修条件	特になし。ただし、「民法総則Ⅰ／民法(総則)Ⅰ」の単位を取得済みであることを強く推奨します。 また、このクラスは2021年度後期(水曜2限またはオンライン)の「民法総則Ⅰ／民法(総則)Ⅰ」(手塚担当)の履修を前提とし、教科書も同じ本を使用するため、どちらかを履修していない場合や他の先生が担当された「民法総則Ⅰ／民法(総則)Ⅰ」を履修していた場合は、履修登録確定前に担当者(手塚)に必ず相談してください。						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	— (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	— (当てはまらない)					
他科目との関連性	以下の各科目と特に深く関連します。 【Gカリキュラム】「民法(物権)」「民法(担保物権)」「民法(契約)Ⅰ・Ⅱ」「民法(不法行為)」「民法(債権総論)Ⅰ・Ⅱ」 【E・Fカリキュラム】「物権法」「担保物権法」「契約法Ⅰ・Ⅱ」「不法行為法」「債権総論Ⅰ・Ⅱ」						
教科書	① 池田真朗『スタートライン民法総論(第3版)』(日本評論社、ISBN 978-4-535-52081-3) ② 六法(出版社は問わないが、2022年版)						
参考書	必要に応じて授業中に紹介しますが、購入は任意です。						
評価方法	「確認テスト」と「理解度確認」の結果で評価します。評価割合は「確認テスト」が30%、「理解度確認」が70%です。「確認テスト」と「理解度確認」はClassroom上で実施する場合があります。						
フィードバック方法	「確認テスト」は採点のうえ返却します。「理解度確認」は解答例や考え方の手がかりを提示することにより、授業外学習を支援します。授業内容に関する質問はメール等で随時受け付け、個別に回答します。						
評価基準	受講の成果として、①講義内容に関する最低限の専門用語を修得できればC評価、さらに、②講義内容に関する民法上の主な制度の意義を理解できていればB評価、さらに、③それらの制度を使うといかなるトラブルがどのように解決されるのかを文章で説明できるようになればA評価またはS評価とし、①に未到達の者はD評価またはE評価とします。「出欠確認」で欠席が6回以上となった場合にはF評価(E・Fカリキュラムの場合はE評価)とします。						
その他	① 復習の欄にある「専門用語の定着」とは、授業中に説明された専門用語について、その内容を自分自身の言葉で説明できるようになることを意味しています。具体的な場面を挙げて、トラブル解決のための制度の説明ができるようになることが必要です。 ② 対面とオンラインのどちらで開講する場合でもGoogle Classroom、Googleフォーム、Gメールといったシステムを活用して授業運営を行います。						

授業 科目名	【G】	民法(総則)Ⅱ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【EF】	民法総則Ⅱ	選 択		【EF】2		【EF】2
授業回数	授業内容						
1	民法総則Ⅰの復習						
	予習: 教科書1課～6課の再読、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
2	代理①代理の意義と構造						
	予習: 教科書7課の通読と語句・条文の確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
3	代理②無権代理と表見代理[1]無権代理						
	予習: 教科書8課の通読と語句・条文の確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
4	代理③無権代理と表見代理[2]表見代理						
	予習: 教科書8課の再読と語句・条文の再確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
5	無効・取消し						
	予習: 教科書9課の通読と語句・条文の確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
6	条件・期限、住所・失踪						
	予習: 教科書10課の通読と語句・条文の確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
7	理解度確認①と解説						
	予習: 第1回～第6回の講義内容の総復習(90分)			復習: 理解度確認①の問題の再検討(自分の解答の点検)(90分)			
8	期間の計算、時効①時効総論						
	予習: 教科書11課の通読と語句・条文の確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
9	時効②取得時効						
	予習: 教科書12課の通読と語句・条文の確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
10	時効③消滅時効						
	予習: 教科書12課の再読と語句・条文の再確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
11	法人①制度の概要と内部機関						
	予習: 教科書13課の通読と語句・条文の確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
12	法人②法人の行為能力など						
	予習: 教科書13課の再読と語句・条文の再確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
13	民法総論①民法典の沿革など						
	予習: 教科書1課の再読と語句・条文の再確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
14	民法総論②民法学習のポイントなど						
	予習: 教科書14課の通読と語句・条文の確認、資料の確認(90分)			復習: 教科書・ノートなどの再読、条文の再確認、専門用語の定着(90分)			
15	理解度確認②と解説						
	予習: 第1回～第6回、第8回～第14回の講義内容の総復習(90分)			復習: 理解度確認②の問題の再検討(自分の解答の点検)(90分)			

科目コード B411-3-X